

第4回日本抗体学会学術大会（大宮）

講演プログラム

第1日目（12月1日）

午後

（開会の辞・総会）

13:00～13:25（依頼）

AGC CDMO 事業の概要とオミクス解析を活用した抗体生産性向上への取り組み

○森千夏¹、柴藤祐介¹、長尾信義¹、養王田正文²、川野泰広¹

¹AGC 株式会社、²東京農工大学 大学院工学府

13:25～13:50（依頼）

CHO-MK 細胞を用いた抗体医薬品製造用セルバンクの構築

○堀内貴之¹、窪田みち¹、岩渕順真¹、大政健史^{2,3}

¹株式会社ちとせ研究所、²大阪大学、³次世代バイオ医薬品製造技術研究組合

13:50～14:05（一般）

IL-7R 標的 ADC による中枢神経系浸潤急性リンパ性白血病に対する革新的根治治療

○濱田源実^{1,2}、高島大輝¹、安永正浩^{1,2}

¹国立がん研究センター先端医療開発センター、東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻

14:05～14:20（一般）

脳貯留性抗体 AccumBody®の脳移行性を改良した TransAccumbody の開発

○永島明咲、宮原和奏、Muhammad Feisal Jatnika、Yeongeun Na、藤田涼花、岩井優実、Abdur MD Rafique、伊東祐二

鹿児島大学理工学研究科理学専攻化学プログラム

14:20～14:35（一般）

VHH 抗体の物性制御によるイムノクロマト適合化の実現

○河野響、松村佑太、武田康助、長見篤、森本拓也

花王株式会社

14:35～14:50（一般）

ポリフェノール分子を基盤としたナノ粒子による細胞内抗体がん治療の実現

○本田雄士^{1,2}, 津田雄流¹, Guo Haochen², 六車共平¹, 三浦裕¹, 西山伸宏^{1,2}

¹東京科学大学, ²川崎産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター

(ポスター発表・ティータイムセミナー)

16:30～16:55 (依頼)

抗体薬物複合体のバイオアナリシスおよびバイオトランスフォーメーション

○浦崎葉子¹

¹第一三共株式会社 薬物動態研究所

16:55～17:20 (依頼)

二重標的化による効率的な脳への送達と持続的な脳内滞留を実現する新規抗体技術

○野口裕生¹, 廣庭奈緒香², 佐藤和貴¹, 山崎雅輝³, 河嶋将司³, 中川桂太郎¹, 長屋仁織², 奥田桃子⁴, 加藤淳彦³, Feng Shu², 原谷健太¹, 倉持太一¹

¹中外製薬株式会社 研究本部, ²Chugai Pharmabody Research Pte. Ltd., ³中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部, ⁴中外製薬株式会社 製薬技術本部

17:20～17:45 (依頼)

中枢を標的とした抗体の薬物動態評価

○岩崎慎治¹

¹武田薬品工業株式会社 薬物動態研究所

17:45～18:10 (依頼)

抗体医薬品の非臨床試験：NAMs 利用に関する現状と課題

○平林容子¹

¹国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター

18:10～18:35 (依頼)

RI 標識抗体によるセラノスティクス開発の最前線

○渡部直史^{1,2}

¹大阪大学 大学院医学系研究科, ²大阪大学 放射線科学基盤機構

19:00～ (懇親会)

第2日目（12月2日）

午前

9:00～9:40（依頼）

共有結合性低分子阻害剤を用いての、治療標的となる癌特異的ネオアンチゲンの創出

○小出昌平

ニューヨーク大学医学部生物化学分子薬理学科

ニューヨーク大学パールムターがんセンター

9:40～10:05（依頼）

脂質ナノ粒子を基盤とした生体内抗体産生および標的化技術

○秋田英万

東北大学大学院薬学研究科

10:05～10:30（依頼）

細胞内標的を狙った経口中分子環状ペプチド創薬プラットフォームの開発と RAS 阻害剤 LUNA18 の創生

○谷口貴昭

中外製薬株式会社 研究本部 モダリティ基盤研究部

（休憩）

11:00～10:15（依頼）

抗体医薬分野の糖鎖関連大学発ベンチャーの動向調査

○鈴木睦昭

国立遺伝学研究所 リサーチ&イノベーションブリッジセンター ABS 支援室

11:15～11:35（依頼）

抗糖鎖抗体による血中糖鎖検出について

○佐藤ちひろ^{1,2}

¹名古屋大学糖鎖生命コア研究所, ²名古屋大学院生命農学研究科

11:35～11:55（依頼）

皮下投与を拓く糖鎖改編：ヒアルロニダーゼ併用による抗体医薬の“バイオベター化”

○飛澤悠葵

岐阜大学医学部附属病院泌尿器科

11:55～12:15 (依頼)

免疫関連疾患治療効果を示す抗糖鎖モノクローナル抗体の開発

○川島博人

千葉大学大学院薬学研究院

(ランチョンセミナー)

午後

13:35～14:00 (依頼)

がんに対する新規 PD-1 免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発

○田中義正

長崎大学先端創薬イノベーションセンター

14:00～14:25 (依頼)

先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発

○高橋克^{1,2}

¹公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 歯科口腔外科

²トレジェムバイオフーマ株式会社

14:25～14:40 (一般)

エムボックスウイルス感染を防御するヒト化 VHH 多価抗体の開発

○赤澤大輔¹, 下島昌幸², 朴ウンシル³, 奥谷晶子³, ビルヘスメンドーサミラグロス³,
井上雄介³, 日紫喜隆行¹, 前田健³, 海老原秀喜², 高橋宜聖⁴, 渡士幸一¹

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所

¹治療薬開発研究部, ²ウイルス第一部, ³獣医科学部, ⁴ワクチン開発研究センター

14:40～14:55 (一般)

**ヘテロ細胞捕捉した大径キャリア内での分泌抗体捕捉とフローサイトメーターによるハイ
スループット抗体スクリーニング**

○林義人, 中村友彦, 村田彩, 村瀬本弥, 松本真寛, 中島悠策, 梅津友行, 世取山翼, 古木
基裕

ソニー株式会社 技術開発研究所 ライフサイエンステクノロジー研究開発部

14:55～15:10 (一般)

**クライオ電子顕微鏡で明らかにした可変ドメインの再配列がもたらす二重特異性抗体の活
性増強機構**

○佐藤恭平¹，上原史朗¹，次田篤史¹，石井麻友香²，石山紫衿瑠³，前島敦²，中原維新²，
名塚美冴²，松井崇⁴，Gatsogiannis, Christos⁵，横山武司¹，熊谷泉²，真壁幸樹³，
浅野竜太郎²，田中良和¹

¹東北大学，²東京農工大学，³山形大学，⁴北里大学，⁵ミュンスター大学

（ポスター発表・ティータイムセミナー）

16：50～17：15（ASK 依頼）

Clinical Development of PMC-403, a novel TIE2 binding and activating human IgG

○ Jin-San Yoo

PharmAbcine, Inc.

17：15～17：40（ASK 依頼）

Peptide-directed reactions for site-specific conjugation of native IgGs

○ Tae Hyeon Yoo

Advanced College of Bio-Convergence Engineering, Ajou University, Suwon, Korea

17：40～18：05（依頼）

固形がんの特性に基づく抗体抗がん剤複合体の開発

○松村保広^{1,2}

¹株式会社凜研究所、²国立がん研究センター研究所免疫創薬分野

18：05～18：30（依頼）

抗体の機能を支える高次構造と構造動態

○谷中冴子^{1,2}，加藤晃一^{1,3}

¹自然科学研究機構生命創成探究センター（ExCELLS），²東京科学大学総合研究院フロンティア材料研究所，³名古屋市立大学大学院薬学研究科

18：30～18：55（依頼）

躍動するディープテックベンチャー ～研究者の挑戦～

○井上浄

株式会社リバネス

19：30～（講演者懇親会）

第3日目（12月3日）

午前

9：00～9：25（依頼）

小角X線散乱法を用いた抗体医薬品の高次構造評価

○福田正和

中外製薬株式会社 製薬技術本部 製剤研究部

9：25～9：50（依頼）

高濃度抗体製剤の溶液粘性に対するアニオン性添加剤の影響

○丸山蒼平^{1,2}，渋谷理紗¹，鳥巢哲生¹，内山進¹

¹大阪大学大学院工学研究科，²塩野義製薬株式会社 製薬技術研究本部

9：50～10：15（依頼）

振とう耐性に着目した新たな製剤条件最適化法の提案

○岡田梨櫻¹，柴田耕生²，渋谷理紗¹，鳥巢哲生¹，内山進²

¹大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻，²株式会社ユー・メディコ

10：15～10：40（依頼）

部位特異的修飾コンジュゲート抗体の品質特性解析

○青山道彦

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部

（休憩）

11：10～11：25（一般）

IgG 抗体の第二フォールド状態の実体

○今村比呂志¹，松本淳²，河野秀俊²，大石郁子³，本田真也³

¹長浜バイオ大学バイオサイエンス学部，²量子科学技術研究開発機構量子生命科学研究所，

³産業技術総合研究所モレキュラーバイオシステム研究部門

11：25～11：40（一般）

染色体工学技術の抗体研究への応用（4）多様化誘導ヒト抗体ディスプレイシステムによる
Wnt/ β カテニンシグナル制御分子の探索

○本多菜々子¹，上田航輝¹，円子大夢¹，橋本七海¹，櫻井諒一¹，宇野愛海¹，冨塚一磨¹，

香月康宏²，堀田秋津³

¹ 東京薬科大学 生命科学部 応用生命科学科, ² 鳥取大学 染色体工学研究センター, ³ 京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門

11:40～11:55 (一般)

MoleQlyze® – 溶液分子投影装置が解き明かす溶液中の VHH fragment およびその抗原複合体の形状と動態

○松本崇, 北村亮, 佐藤孝, 長谷川智一, 神田浩幸
株式会社リガク

11:55～12:10 (一般)

イソペプチド結合導入抗体 iSoMAb の開発

○中西猛¹, 小幡匡¹, 藤岡紗衣¹, 吉村小緒利², 東清史³, 丁培偉⁴, 波田千彰², 王彩霞², 北村昌也¹, 真壁幸樹⁴, 立花太郎^{1,2,3}

¹大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻, ²株式会社細胞工学研究所, パンクセラピー株式会社, ⁴山形大学大学院理工学研究科化学・バイオ工学専攻

(ランチョンセミナー)

午後

13:30～13:55 (依頼)

診断薬用抗体の単離と性能評価 ― 市販抗体との比較と今後の展開 ―

○松葉隆雄¹

¹東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部第一開発部

13:55～14:20 (依頼)

微小抗体を用いた次世代光免疫センシング

○矢野隆章

徳島大学 ポスト LED フォトニクス研究所

14:20～14:45 (依頼)

ファージ提示法を基盤とした抗体作製法の改良

○村上明一¹, 塚原成俊², 松原俊之², 川上夏未³, 滝沢壽男³

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔微生物学分野, ²RePHAGEN 株式会社, ³徳島大学研究支援・産官学連携センター

(休憩)

15:15～15:40 (依頼)

B細胞レパトア解析と抗体分子設計

○黒田大祐

日本大学 文理学部 生命科学科

15:40～16:05 (依頼)

抗体の可溶性凝集体による ADA (抗医薬抗体) 誘導の物理化学的・免疫学的機構の解明とその抑制戦略の構築

○黒田裕¹、鶴井博理^{1,2}、Sanjida Yesmin¹、Din Islam M¹、松岡周二²、Islam Monirul M³

¹東京農工大学工学研究院、²順天堂大学医学部免疫診断、³Chitagong University

16:05～16:30 (依頼)

抗体分子の計算設計と成熟化改変

○星野忠次¹

¹千葉大学大学院薬学研究院・理論創薬研究室

(表彰式)

(閉会の辞)

以上